

(単位：千円)

第8款 土木費							
第1項 土木管理費							
第1目 土木総務費							
番号	事項(事業)名	予算額	財源内訳		事項(事業)の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	職員給与費	18,816		18,816	■職員2人分の給与	総務課	
2	土木総務一般事務費	3,104	使手 25	3,079	■土木総務に係る一般事務	建設課 監理課	
3	急傾斜地崩壊対策事業費	11,000	分負 市債 3,000 8,000		■京都府が施行する急傾斜地崩壊対策事業等への負担金	建設課	土木1
4	地籍調査事業費	7,187	府 5,250	1,937	■地籍調査の実施	都市計画課	土木2
	合計	40,107		16,275 23,832			

第2項 道路橋りょう費							
第1目 道路橋りょう総務費							
番号	事項(事業)名	予算額	財源内訳		事項(事業)の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	職員給与費	25,483		25,483	■職員4人分の給与	総務課	
2	道路橋りょう総務一般事務費	8,372		8,372	■道路橋りょう総務に係る一般事務	建設課	
3	道路台帳整備費	4,000		4,000	■市道の認定、変更、改良等に係る道路台帳の修正・整備	建設課	
	合計	37,855		37,855			

第2目 道路橋りょう維持費							
番号	事項(事業)名	予算額	財源内訳		事項(事業)の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	道路等一般維持管理費	38,093	財産 52	38,041	■市道の維持補修及び施設の管理 ■市道の簡易修繕等に迅速に対応するため、すぐやる事業を推進	建設課	
2	除雪機械設置補助事業費	3,500		3,500	■自治会が行う除雪機等の設置に対する補助金 補助金額：1件500千円上限(補助率1/2)	建設課	

(単位：千円)

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
3	除雪対策費	21,773		21,773	■冬季の凍結や積雪に対する主要道路の安全性確保のための除雪等	建設課	
	合計	63,366	52	63,314			

第3目 道路橋りょう新設改良費

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	職員給与費	58,207		58,207	■職員8人分の給与	総務課	
2	道路整備事業費	169,757	国 繰入 市債 11,000 123,949 32,100	2,708	■地域住民の生活道路である市道の計画的な整備等	建設課	土木3
3	交通安全施設整備事業費	5,000		5,000	■道路交通の安全確保のため、カーブミラー、ガードレール等の交通安全施設を整備	建設課	土木4
4	橋りょう長寿命化対策事業費	112,000	国 市債 61,600 24,600	25,800	■老朽化している橋りょうの改修 ■橋りょうの点検	建設課	土木5
5	宮代豊里線整備事業費	6,200	国 市債 3,410 2,200	590	■市道宮代豊里線の拡幅・2車線化・歩道整備等	建設課	土木6
6	味方平線整備事業費	3,000	国 1,650	1,350	■市道味方平線の安全確保に向けた拡幅・落石防止対策	建設課	土木7
	合計	354,164	260,509	93,655			

第3項 河川費

第1目 河川総務費

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	職員給与費	14,629		14,629	■職員2人分の給与	総務課	
2	河川総務一般事務費	3,194	諸収 1,870	1,324	■河川総務に係る一般事務 ■樋門の維持管理、光谷川・犀川の内水処理	建設課	

(単位：千円)

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
3	由良川改修促進事業費	148		148	■由良川治水促進同盟会への負担金	建設課	
	合計	17,971	1,870	16,101			

第2目 河川維持費

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	河川維持補修費	3,830		3,830	■河川の浚渫や雑木伐採などの維持管理	建設課	
2	光谷川整備事業費	35,000	市債 31,500	3,500	■光谷川の改修	建設課	土木8
3	黒谷川整備事業費	12,000	市債 8,700	3,300	■黒谷川の改修	建設課	土木9
	合計	50,830	40,200	10,630			

第4項 都市計画費

第1目 都市計画総務費

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	職員給与費	29,320		29,320	■職員4人分の給与	総務課	
2	都市計画総務一般事務費	792	使手 財産 諸収 489 72 50	181	■都市計画総務に係る一般事務	都市計画課	
3	土地利用規制対策費	74	府 74		■国土利用計画法に基づく土地取引の届出等	都市計画課	
4	綾部駅自由通路管理費	3,277		3,277	■綾部駅南北間の歩行者通行の利便を図るため、自由通路を管理	都市計画課	
5	彫刻管理費	5,132		5,132	■綾部駅南広場、綾部駅北広場の彫刻の維持管理 ■本年度、住宅・工業団地内の彫刻4体を返却	都市計画課	
6	排水設備等資金融資制度預託金	3,601	諸収 3,600	1	■水洗化事業の排水設備等資金融資に係る預託金	下水道課	

(単位：千円)

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
7	下水道事業特別会計繰出金	601,383		601,383	■下水道事業特別会計への繰出金	下水道課	
	合計	643,579	4,285	639,294			

第2目 土地区画整理費

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	住宅・工業団地事業特別会計繰出金	25,463		25,463	■住宅・工業団地事業特別会計への繰出金	定住促進課	
	合計	25,463		25,463			

第3目 都市下水路費

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	都市下水路維持管理費	6,359	諸収 56	6,303	■都市下水路の維持管理及び青野第2樋門・下地川樋門・古川樋門の内水処理 ■下地川樋門等修繕 ■内水処理対策に取り組む団体への補助金	下水道課	
	合計	6,359	56	6,303			

第4目 公園費

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	職員給与費	7,717		7,717	■職員1人分の給与	総務課	
2	公園管理費	18,032	使手 203	17,829	■都市公園の施設等の維持管理	都市計画課	
	合計	25,749	203	25,546			

第5項 住宅費

第1目 住宅管理費

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	職員給与費	56,446		56,446	■職員8人分の給与	総務課	

(単位：千円)

番号	事項(事業)名	予算額	財源内訳		事項(事業)の概要	担当課	説明資料	
			特定財源	一般財源				
2	住宅維持管理費	77,314	使手 国 財産	19,541 10,708 27,993	19,072	■市営住宅274戸、水源の里定住促進住宅2戸、一戸建住宅104戸の維持管理 ■新築借上型市営住宅の活用 ■市営住宅の明渡し訴訟	建築課 水源の里・地域振興課	土木10
3	木造住宅耐震診断士派遣事業費	1,012	国 府	500 250	262	■木造住宅の耐震性の向上を図るため、耐震診断士の派遣による耐震診断の実施を支援 派遣件数：20件	建築課	
4	住宅改良資金融資制度預託金	1,208	諸収	1,200	8	■住宅の増改築及び修繕資金融資に係る預託金	建築課	
5	コミュニティ施設耐震診断費補助事業費	84			84	■自治会が行う公会堂等コミュニティ施設(木造)の耐震診断費用に対する補助金 補助金額：1件28千円上限 補助件数：3件	建築課	
6	住宅新築資金等貸付事業基金積立金等	27	財産	12	15	■利子収入見込額の積立金等	人権推進課	
7	木造住宅耐震改修費補助事業費	10,500	国 府	2,625 5,250	2,625	■木造住宅の耐震性の向上を図るための本格耐震改修又は簡易耐震改修費用に対する補助金(補助率3/4) (本格)補助金額：1件900千円上限 補助件数：9件 (簡易)補助金額：1件300千円上限 補助件数：8件	建築課	
8	市営住宅耐震改修等事業費	3,041	国	1,511	1,530	■市営住宅の耐震診断調査	建築課	土木11
9	空家等対策費	500			500	■適切な管理が行われていない空家等が市民の生活環境に深刻な影響を及ぼす場合に緊急安全対策を実施	建築課	
10	市営住宅等長寿命化計画見直し事業費	2,646	国	1,323	1,323	■市営住宅等長寿命化計画の見直し	建築課	土木12
	合計	152,778		70,913	81,865			

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

土木1

(単位：千円)

事業名	急傾斜地崩壊対策事業費		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	防災対策の推進	11,000			8,000	3,000	
目 的 目 標	急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命、財産を守るとともに国土の保全に資するため、危険性の高い斜面の安全対策を実施 地域防災計画に定める指定避難所、高齢者福祉施設、幼稚園等要援護者施設に近接する急傾斜地の対策を優先的に推進			前年度当初予算額					
				9,300					
事業概要	■急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律（昭和44年法律第57号）に基づき、京都府が執行する急傾斜地崩壊対策事業等への負担金 ○実施予定箇所（継続地区） 井根地区Ⅰ、井根地区Ⅱ			背 景 経 緯	・京都府の基礎調査では、平成28年3月現在で崩壊の危険性がある斜面を市内約1,700か所確認				
				期待される効果	・市民の生命、財産を守り、安全・安心なまちづくりを推進				
事業費 内訳	・負補 11,000（府施行事業負担金）			市民参加の状況					
				他市の取組状況	・他市においても京都府による防災対策を順次推進				
				担当課・担当	建設課 国・府事業担当	TEL	42-4281		

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

土木2

(単位：千円)

事業名	地籍調査事業費		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	快適で誰もが住みよいまちづく り	(節)	土地利用と市街地の形成	7,187		5,250			1,937
目 的 ・ 目 標	災害復旧の迅速化、公共事業のコスト縮減、土地取引の円滑化等、土地をめぐる行政活動・経済活動すべての基礎データを築く地籍調査の積極的な推進による、よりよい行政サービスの展開			前年度当初予算額					
				2,000					
事業概要	■地籍調査の実施 ○調査面積：0.3km ² ○事業期間：平成29年度～平成32年度 ○負担割合：国5/10 府2.5/10 市2.5/10 ○実施地区：青野Ⅰ（綾部地区） ○実施内容：調査素図の作成			背 景 ・ 経 緯	・全国的な地籍調査の進捗は、京都府が最下位 ・本市における地籍調査は、昭和38年度をもって休止状態				
				期待される 効果	・土地境界トラブルの未然防止 ・登記手続の簡素化・費用縮減 ・公共事業の工期短縮・コスト縮減 ・災害復旧の迅速化 ・課税の適正化・公平化				
事業費 内訳	・共済 270 (社会保険等) ・賃金 1,665 (臨時職員) ・旅費 123 (普通) ・需用 350 (消耗、燃料、印本) ・役務 73 (通信運搬費) ・委託 4,499 (地籍調査) ・使賃 20 (会場借上料) ・負担 187 (協議会負担金等)			市民参加の 状況	・地権者・関係者の立ち会い等の協力				
				他市の取組 状況	・府内市町村において同様の取組あり				
				担当課・ 担当	都市計画課 都市計画担当			TEL	42-4285

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

土木3

(単位：千円)

事業名	道路整備事業費		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	快適で誰もが住みよいまちづくり	(節)	道路の整備	169,757	11,000		32,100	123,949	2,708
目 的 ・ 目 標	道路は市民の日々の暮らしや経済・社会活動を支える最も身近な施設であるとともに、災害時には避難路や物資の緊急輸送路としての重要な役割を担っているものであり、交通利便性への支障や劣化の状況などを考慮した計画的な整備が必要			前年度当初予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				151,241	国補助	社会資本整備総合交付金		11,000	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域からの要望や他事業との連携等による一般市道の舗装、拡幅、側溝改良等 ■ 辺地総合整備計画に基づく市道整備 <ul style="list-style-type: none"> ○ 実施路線：市志線、見内線、宮谷線、見内下村線 ■ 京都縦貫自動車道整備時の工事用道路を市道等に編入するための用地取得 			背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅員狭小、経年による舗装面の劣化、老朽化により水路や側溝が機能していないなど、拡幅や改良等を要する市道が点在 ・ 辺地地域（於与岐町、五泉町）の計画的な道路整備 				
				期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市道の計画的な整備による市民生活の安全確保や生活利便性の向上 				
事業費内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報酬 1,708 (嘱託職員) ・ 旅費 110 (普通) ・ 委託 24,249 (調査、測量等) ・ 工請 119,100 (舗装改良、拡幅改良、側溝改良等) ・ 公財 23,390 (土地) ・ 補償 1,200 (立木補償等) 			市民参加の状況					
				他市の取組状況					
				担当課・担当	建設課	土木整備担当 国・府事業担当	TEL	42-4282 42-4281	

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

土木4

(単位：千円)

事業名	交通安全施設整備事業費			継続	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	快適で誰もが住みよいまちづくり	(節)	道路の整備		5,000					5,000
目 的 目 標	交通事故の未然防止や交通の円滑化を図るとともに道路利用者の安全・安心を確保するため、市道の必要箇所に交通安全施設（道路反射鏡、防護柵、区画線等）を整備				前年度当初予算額					
					6,000					
事業概要	■交通安全施設（道路反射鏡、防護柵、区画線等）の設置工事			背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・広範な市域において、交差点やカーブによる視距改良や崖地等での転落防止などの安全対策を要する箇所が点在 ・市民生活に直結するため市民要望が多く、早期の対策が必要 					
				期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市道の交通安全施設整備による道路交通の安全確保 					
事業費 内訳	・工請 5,000（道路反射鏡設置工、防護柵工、区画線工等）			市民参加の 状況						
				他市の取組 状況						
				担当課・ 担当	建設課 土木維持担当			TEL	42-4283	

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

土木5

(単位：千円)

事業名	橋りょう長寿命化対策事業費		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	快適で誰もが住みよいまちづく り	(節)	道路の整備	112,000	61,600		24,600		25,800
目 的 ・ 目 標	橋りょうは市民の日々の暮らしや経済・社会活動を支える最も身近な施設であるとともに、災害時には避難路や物資の緊急輸送路としての重要な役割を担っているものであり、交通利便性への支障や劣化の状況などを考慮した計画的な整備が必要			前年度当初予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				112,000	国補助	社会資本整備総合交付金		61,600	
事業概要	■老朽化した橋りょうの計画的な改修及び点検 ○実施設計：5橋 ・八幡橋 (梅迫町：昭和37年架設 L=9.7m) ・姫渡橋 (中筋町：昭和48年架設 L=19.1m) ・高柳橋 (中筋町：昭和54年架設 L=19.1m) ・友広一号橋 (有岡町：昭和42年架設 L=13.1m) ・友広二号橋 (有岡町：昭和43年架設 L=13.7m) ○改修工事：2橋 ・武吉橋 (武吉町：昭和50年架設 L=63.2m) ・大迫橋 (下八田町：昭和49年架設 L=29.5m) ○橋りょう点検：120橋			背景 ・ 経 緯	・主に高度成長期に整備した橋りょうは、今後、老朽化により修繕が必要 ・橋りょう修繕は、財政的にも大きな負担となることから計画的に補修を実施				
				期待される 効果	・計画的に補修を行うことにより、橋りょうの健全度の把握、補修費の年度間の平準化が可能				
事業費 内訳	・委託 66,000 (設計、点検) ・工請 46,000 (橋りょう改修)			市民参加の 状況					
				他市の取組 状況					
				担当課・ 担当	建設課 土木維持担当		TEL	42-4283	

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

土木6

(単位：千円)

事業名	宮代豊里線整備事業費			新規	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	快適で誰もが住みよいまちづく り	(節)	道路の整備		6,200	3,410		2,200		590
目 的 ・ 目 標	市道宮代豊里線は主要地方道舞鶴綾部福知山線と主要地方道福知山綾部線を南北に結ぶアクセス道路として重要な位置にあり、拡幅・2車線化等の整備を実施することにより、車両の円滑な通行及び歩行者等の安全性を確保			前年度当初予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
					国補助	社会資本整備総合交付金		3,410		
						市債	市債		2,200	
事業概要	■市道宮代豊里線の拡幅・2車線化・歩道整備の実施 ○事業規模：L=165.0m W=12.0m ○事業期間：平成29年度～平成33年度 ○事業内容（平成29年度実施分） ・縦横断測量、詳細設計			背景 ・ 経 緯	・平成5年度末に位田橋開通後、北から南に向けて順次整備を実施 ・現在は幅員狭小のため、車両の離合が困難であるなど支障を来しており、早期の整備が必要					
					期待される 効果	・車両の円滑な通行が可能となり利便性が向上 ・歩行者等の安全確保				
事業費 内訳	・委託 6,200（測量、設計）			市民参加の 状況						
					他市の取組 状況					
				担当課・ 担当	建設課 土木整備担当			TEL	42-4282	

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

土木7

(単位：千円)

事業名	味方平線整備事業費		新規	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	快適で誰もが住みよいまちづく り	(節)	道路の整備	3,000	1,650				1,350
目 的 ・ 目 標	幅員狭小や斜面からの落石の危険により、歩行者の通行に課題のある市道味方平線の安全を確保			前年度当初予算額					
事業概要	■市道味方平線の拡幅（歩道確保）等の実施 ○事業規模：L=120.0m ○事業期間：平成29年度～平成31年度 ○事業内容（平成29年度実施分） ・平面・縦横断測量			背 景 ・ 経 緯	・歩行者の安全を確保するため、拡幅と斜面からの落石防止対策が必要				
				期待される 効果	・歩行者等の安全確保				
事業費 内訳	・委託 3,000（測量）			市民参加の 状況					
				他市の取組 状況					
				担当課・ 担当	建設課 土木整備担当	TEL	42-4282		

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

土木8

(単位：千円)

事業名	光谷川整備事業費			継続	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	防災対策の推進		35,000			31,500		3,500
目 的 目 標	普通河川光谷川の整備を行うことにより、流水阻害等の発生を防止し、市民生活の安全・安心を確保			前年度当初予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
					市債	市債		31,500		
事業概要	■普通河川光谷川（味方町地内）の整備 ○整備内容 ・護岸整備 L=121.0m			背景 経緯	・河川構造物が老朽化し、崩落による流水阻害発生の危険があるため整備が必要					
					期待される 効果	・既存の機能を十分に発揮できるよう、老朽化施設の修繕、整備を行うことにより、市民生活の安全・安心を確保				
事業費 内訳	・工請 35,000（護岸整備）			市民参加の 状況						
				他市の取組 状況						
				担当課・ 担当	建設課 土木整備担当		TEL	42-4282		

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

土木9

(単位：千円)

事業名	黒谷川整備事業費			新規	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	防災対策の推進		12,000			8,700		3,300
目 的 目 標	普通河川黒谷川の整備を行うことにより、市道黒谷線及び家屋の浸水被害を軽減し、市民生活の安全・安心を確保			前年度当初予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
					市債	市債		8,700		
事業概要	■普通河川黒谷川（黒谷町地内）の整備 ○事業規模：L=28.0m ○事業期間：平成29年度～平成30年度 ○事業内容（平成29年度実施分） ・土質調査、詳細設計			背景 経緯	・一定の雨量を超えると普通河川黒谷川があふれ市道黒谷線が冠水する状態であり、河川の整備による浸水被害の軽減が必要					
				期待される効果	・浸水被害を軽減し、市民生活の安全・安心を確保					
事業費 内訳	・委託 12,000（調査、設計）			市民参加の状況						
				他市の取組状況						
				担当課・担当	建設課 土木整備担当		TEL	42-4282		

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

土木10

(単位：千円)

事業名	住宅維持管理費		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	快適で誰もが住みよいまちづく り	(節)	住環境の整備	77,314	10,708			47,534	19,072
目 的 ・ 目 標	老朽化した住宅の更新を図りつつ、住宅に困窮する低額所得者に、現在の居住水準にあった良質な住宅を長期にわたり安定的に供給 既存の公営住宅等の適正な維持管理による住環境の管理保全			前年度当初予算額					
				78,368	国補助	公的賃貸住宅家賃対策調整補助金	4,224		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■借上型市営住宅の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○民間が所有する賃貸住宅を借上げ、市営住宅として転賃 <ul style="list-style-type: none"> ・新築借上型市営住宅の共用部分に対する建設費補助（8戸分） ・市営住宅基本計画において用途廃止団地に位置付けた市営住宅からの移転費補助（4戸分） ○対象戸数 2件 ■市営住宅の明渡し訴訟 <ul style="list-style-type: none"> ○対象土地：寺町堂ノ前10-1ほか8筆 A=4,446.6㎡ 			背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度に綾部市営住宅あり方検討委員会を設置し、平成24年度に市営住宅基本計画を策定 ・市営住宅の老朽化が著しく、新たな住宅の供給が必要 ・平成12年度に土地開発基金を活用し、公営住宅用地を取得 				
				期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅に困窮する低額所得者に、現在の居住水準にあった良質な住宅を長期にわたり安定的に供給 ・借上型市営住宅の導入による投資の軽減と効率的な住宅供給 				
事業費 内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬 1,614（嘱託職員、委員） ・報償 20（謝礼） ・旅費 58（普通、費用弁償） ・需用 9,169（消耗、燃料、印本、光熱、修繕） ・役務 812（保険料、手数料等） ・委託 2,035（訴訟業務、除草等） ・使賃 37,963（借地料、住宅借上料、システム使用料等） ・工請 15,039（修繕、解体等） ・原材 20（材料） ・公財 2,244（土地） ・負補 8,323（移転補助、建設補助等） ・公課 17（自動車重量税） 			市民参加の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅入居者選考委員会に有識者として外部委員4名の参加 ・借上型市営住宅選定委員会に有識者として外部委員2名の参加 				
				他市の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・府内市町村：借上型市営住宅制度の取組なし 				
				担当課・担当	建築課 住宅・空家等対策担当 水源の里・地域振興課 水源の里担当			TEL	42-4284 54-0095

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

土木11

(単位：千円)

事業名	市営住宅耐震改修等事業費			継続	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	快適で誰もが住みよいまちづくり	(節)	住環境の整備		3,041	1,511				1,530
目 的 ・ 目 標	耐震化・長寿命化等により、入居者が安全で安心して暮らせる住環境を確保			前年度当初予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
					国補助	社会資本整備総合交付金		1,511		
事業概要	■耐震診断調査 ○大谷団地（補強コンクリートブロック造2階建2棟10戸） ○井倉団地（補強コンクリートブロック造2階建1棟 5戸）			背景・経緯	・市営住宅の老朽化が進み、入居者の居住環境の悪化が懸念される状況 ・平成24年度策定の市営住宅基本計画において維持管理団地に位置付けた市営住宅の計画的な修繕が必要					
					期待される効果	・入居者が安全で安心して暮らせる住環境の確保				
事業費内訳	・旅費 18（普通） ・役務 324（手数料） ・委託 2,699（耐震診断）			市民参加の状況						
				他市の取組状況	・府内市町村において同様の取組あり					
				担当課・担当	建築課 住宅・空家等対策担当		TEL	42-4284		

平成29年度 当初予算 主要事業説明資料

土木12

(単位：千円)

事業名	市営住宅等長寿命化計画見直し事業費		新規	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	快適で誰もが住みよいまちづく り	(節)	住環境の整備	2,646	1,323				1,323
目 的 目 標	平成25年度に策定した「綾部市営住宅等長寿命化計画」の見直しを行い、より効果的な市営住宅の管理運営を推進			前年度当初予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
					国補助	社会資本整備総合交付金		1,323	
事業概要	■綾部市営住宅等長寿命化計画の見直し ○団地別・住棟別の状況把握とストック活用手法の判定 ○建替事業の方針の設定 ○長寿命化のための維持管理計画の立案 ○長寿命化のための維持管理による効果の算出			背 景 経 緯	・平成25年度に「綾部市営住宅等長寿命化計画」を策定 ・平成28年8月に国が策定した「公営住宅等長寿命化計画策定指針（改定）」に則した計画の見直しが必要				
				期待される 効果	・市営住宅の適正管理と計画的な建設・改修・廃止				
事業費 内訳	・委託 2,646（計画見直し）			市民参加の 状況					
				他市の取組 状況	・府内市町村において同様の取組あり				
				担当課・ 担当	建築課 住宅・空家等対策担当		TEL	42-4284	